

保護者各位

上士幌町役場保健福祉課健康増進担当

ヒトパピローマウイルス（HPV）ワクチンのご案内

日本で年間約10,000人が発症して約3,000人が死亡している子宮頸がんは、20～30歳代で急増しています。主な原因がヒトパピローマウイルス（HPV）による性感染症で、感染前の10歳代にワクチンを接種することで、子宮頸がんを予防する効果があり、平成25年4月から定期的予防接種になりました。定期接種開始後、ワクチンとの因果関係を否定できない様々な症状が接種後に特異的に見られたことから、積極的に勧奨すべきではないとされていました。

しかしながら、最新の知見を踏まえ、改めてHPVワクチンの安全性が確認され、接種による有効性が副反応のリスクを明らかに上回ると認められたため、このたび対象者のみなさまには、周知を行い、接種機会の確保を図ることになりました。

接種につきましては、別添のパンフレットをよくお読みになり、さらに必要な情報につきましては、厚生労働省のホームページ等をご参照の上、ご検討くださいますようお願いいたします。

1. 対象者 小学校6年生～高校1年生に相当する年齢の女性

※標準的な接種期間（望ましい接種期間）：中学1年生に相当する年齢の女性

2. ワクチンの種類

現在、定期予防接種として接種できるHPVワクチンは、2種類あります。

各々の説明をよく読んでお選び下さい。

注）接種の途中で種類を変えることはできません。予約時までには種類を決めておきましょう。

ワクチンの種類	サーバリックス（2価ワクチン） （グラクソ・スミスクライン株式会社）	ガーダシル（4価ワクチン） （MSD株式会社）	
予防効果	<ul style="list-style-type: none"> ・どちらのワクチンも、ヒトパピローマウイルス（HPV）のうち、発がん性の強い16型・18型の感染を防ぎます。ガーダシルは、他に発がん性ではない6型・11型の感染を防ぎ、性病である尖圭コンジローマを予防します。 ・十分な予防効果を得るためには3回の接種が必要です。 		
接種時期	1回目	初回接種	初回接種
	2回目	初回接種から1ヶ月以上の間隔をおいて接種	初回接種から1ヶ月以上の間隔をおいて接種
	3回目	1回目から5か月以上で、2回目から2～2ヶ月半の間隔をおいて接種	2回目から3か月以上の間隔をおいて接種
接種方法	ワクチン（0.5ml）を筋肉注射		

→裏面に続く

3. 予診票（2種類、3枚ずつ同封しています）

保護者が同伴で接種する場合 → びわ色の予診票（様式第三）をご利用ください。

保護者が同伴せずに接種する場合 → 白色の予診票を（様式第四）をご利用ください。

★15歳未満の予防接種は、原則、保護者の同伴が必要です。

4. 実施医療機関

医療機関	受付時間	予約	予防接種の種類		持ち物
			サーバリックス	ガーダシル	
はげあん診療所 (2-5678)	月火木金 9:30~15:30	1週間前までに予約	○	○	・母子手帳 ・子ども医療費受給者証 ・健康保険証
豊川小児科内科医院 (0155-32-2310)	月火水木金土 8:00~11:00 月火木金 14:00~17:20	予約	○	○	
帯広徳洲会病院 (0155-32-3030)	予約時にご確認ください	1週間前までに予約	○	○	

●このご案内に関するお問い合わせ先

上士幌町役場保健福祉課健康増進担当 電話 2-4128